

高知工科大学で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

「世界の未来に貢献できる研究成果を創出できる人材の育成」を目標として、以下の育成方針に基づき、PD等を支援します。

(1) 雇用条件の充実

常勤職員の職位「助教（特別研究員）」を新たに規定して雇用します。さらに、研究機関に交付される「特別研究員奨励費（学術条件整備）」に加えて本学独自の研究者育成予算を活用し、PD等手当（月額63,000円）を給与に加算します。併せて、住居手当支給、共済組合・雇用保険へ加入し、福利厚生を確保するとともに、関係法令に則った適切な労務管理を行います。

(2) 研究環境の整備

研究開始に必要な環境を整備するための予算（年額500,000円）を特定研究費として支給し、次年度以降も同額の研究費を継続して支給します。加えて、本学が保有する大型共用研究設備・機器を適宜更新し、研究環境の充実に図ります。

(3) 研究者のキャリア形成

国際学会参加や海外研究機関での長期研究滞在を奨励し、国際性の育成を図ります。

また、申請可能な研究費等に関する情報の提供、研究アドバイザーによる外部資金獲得支援やメンターによるメンタリングの機会を提供し、キャリア形成の支援を行います。さらに女性研究者に対しては、「女性エンジニア育成支援センター」を中心に、積極的な育成に取り組みます。